

重点取組みに係る事例集

重点取組み	事業区分	構成事業	事例・概要
1. 1. 1. ごみを可能な限り発生・排出しないしくみづくり	リユース	粗大ごみの有効活用	目黒区リサイクルプラザ リサイクルショップでは、一般家庭での不用品を区民から預かり販売。平成 12 年 8 月から販売額の 10%を徴収。 シルバーアトリエでは、家庭でいらなくなった家具類を引き取り、修理・再生して廉価販売。 リサイクルプラザの運営は任意団体「リサイクルめぐる推進協会」に委託
		チャレンジ・リサイクルショップ	西谷商店街でのチャレンジショップ 商店街の空き店舗を活用し、複数ブースに区切ったレンタルスペースとして提供。市民に事業化のきっかけを提供すると同時に、商店街の人の流れを変え活性化につなげる。
	リース・レンタル	小売店受付型レンタルサービス	生協による福祉用具レンタル 福祉関連 13 社で構成する「エコールグループ」が運営する福祉用具レンタル販売事業 生協と提携し事業を拡大
		集合住宅や個人宅におけるあかり安心サービス	蛍光灯:あかり安心サービス 蛍光灯の所有権は家電メーカー(M 電器)に残したまま、「あかり」という機能のみを提供するサービス。M 電器ではさらに空調フィルターに拡大。契約企業からはバッテリーなどへの拡大ニーズも出ている。
2. 2. 1. 波及効果のある環境学習のしくみづくり	意識醸成	普及啓発カリキュラムの活用による環境学習機会の拡充	カナダ・バンクーバー:No Time To Waste Reduce/Reuse/Recycle のメッセージを小学生に伝えることを目的に開発された教育プログラム。(資料のアウトラインは別紙参照)
3. 3. 1. 区民・事業者の主体的な資源等回収のしくみづくり	区民・事業者主体のリサイクル	空き店舗等の活用による区民回収管理	品川区「戸越銀座商店街」 商店街でのびん・缶リサイクル(拠点回収)、ノーレジ運動などを展開。エコポイントを組み合わせ、区民に参加のインセンティブと楽しみを付与

目黒区リサイクルプラザ(リサイクルショップ)

- 利用者は会員登録後、利用申込、スペースが開いた段階で利用を通知
- 対象は生活用品、家電製品(PLの関係)・自転車は取り扱い外
- 展示期間は2～3週間程度
- 値付けには運営団体のアドバイスあり
- 売れた場合は手数料10%を差し引き出展者に支払い
- 売れ残った場合は出展者が引き取り、自己処分

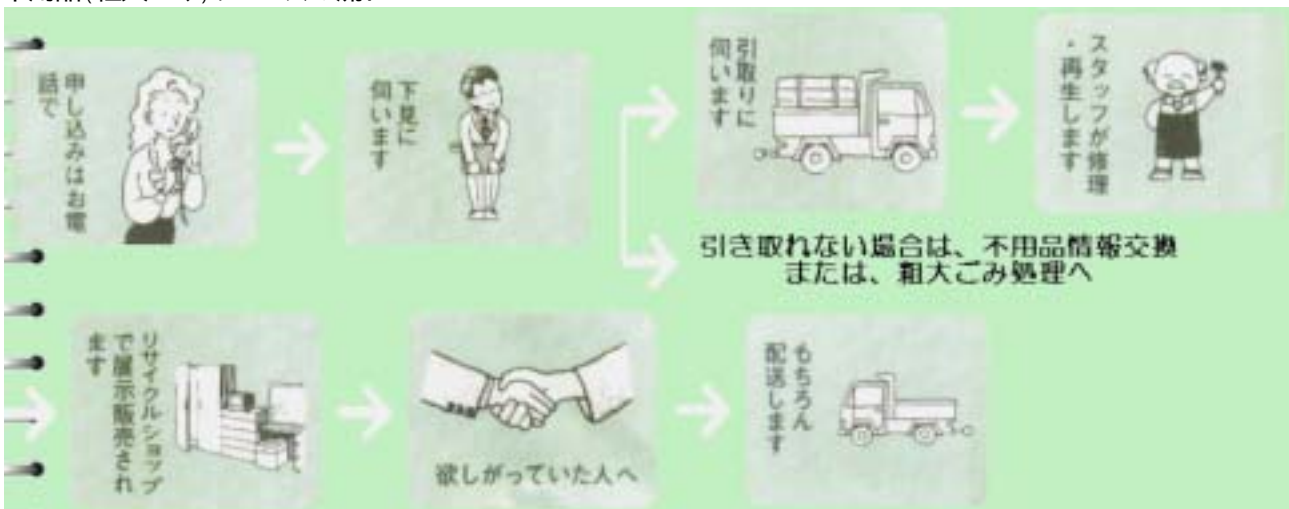
不用品委託販売の流れ



目黒区リサイクルプラザ(シルバーアトリエ)

- シルバー人材センターが事業運営、売り上げはすべてシルバーの収入
- 区の粗大申込の際に「まだ使えそう」という情報があった場合、シルバーアトリエを紹介
- 連絡があった場合、シルバーが取りに行く(「使えない」とことわることはほとんどないとのこと)
- 金額はシルバーが独自に設定。粗大ごみ処理手数料のほぼ半額程度
- シルバーアトリエで手をいれ、数万円を上限に区民に廉価販売

不用品(粗大ごみ)リユースの流れ



横浜市西谷商店街での空き店舗を活用したチャレンジショップ(レンタルスペース)

空き店舗を地域住民との絆の強化に提供

「井戸端くらぶ@nishiya」は、西谷商栄会(125店)にある空き店舗を利用したレンタルスペースです。55あるブースは全て埋まっていて、1週間に300人の来店があります。レンタル料は1,000円から15,000円。商店街のメンバーも逸品運動の商品を出品者として並べるなど、店舗と住民の協働の場となっています。運営は商店街と市民等で構成する運営委員会が担当、効率的な運用とガラスばりの売上げ管理が実現しました。



ここがポイント

空き店舗の周辺が明るい街に

店舗の連続性が復活し、閉店後もライトアップされて周辺が明るくなったと評判です。広域からの出店者や来店者が増え、街に活気をもたらしています。

店舗としての新しさ、面白さが新鮮

商店街にはないジャンルの商品を扱っていると同時に1ヶ月ごとに入れ代わるので商品構成にも変化があり、いつも新鮮です。商店街のお店も「こだわりの逸品」を出品するなどしてリンクしています。

補助金をあてにしない健全な事業採算性が見込めます

家賃補助が終了後も黒字運営が見込めるよう組まれていますので、売上げ高の推移が大きく変化しない限り事業の継続が見込めます。補助事業でありながら長期的な展望が見込めます。

生活協同組合による福祉関連レンタル用品

介護保険では「福祉用具の貸与」というメニューがあります。以下が対象となる福祉用具です。イラストの5品目は2003年4月より対象となりました。

車いす

自走用車いす、介助用車いす、電動車いす。

車いす付属品

クッション、電動補助装置等。

特殊寝台

背上げや脚部の傾斜角度が調節できたり、床板の高さが無段階に調節できるもの。

特殊寝台付属品

マットレス、サイドレール等。

じょくそう 予防用具

エアマット、体圧分散効果のある全身用のマット。

体位変換器

空気パッドなどを体の下に入れ、寝返りをうたせるためのもの。

手すり

取り付けに工事を伴わないもの。

スロープ

段差解消のためのもので、取り付けに工事を伴わないもの。

歩行器

車輪付きのものは体の前及び左右を囲む把手のあるもの。四脚のものは上段で保持して移動させることができるもの。

歩行補助つえ

松葉づえ、カナディアン・クラッチ、ロフトランド・クラッチ、多点つえ。

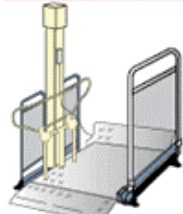
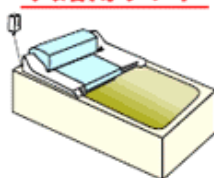
痴呆性老人徘徊感知器

痴呆性老人が屋外に出ようとした時、センサーが感知して通報するもの。

移動用リフト

(吊り具の部分は除く)
床走行式、固定式、据置式であり、身体をつり上げ又は支えるものであり、移動を補助する機能があるもの。(取付に住宅改修を伴わないもの)

入浴用リフト



段差解消機

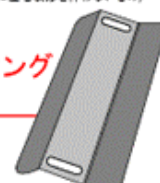
立ち上がり補助いす



六輪歩行器

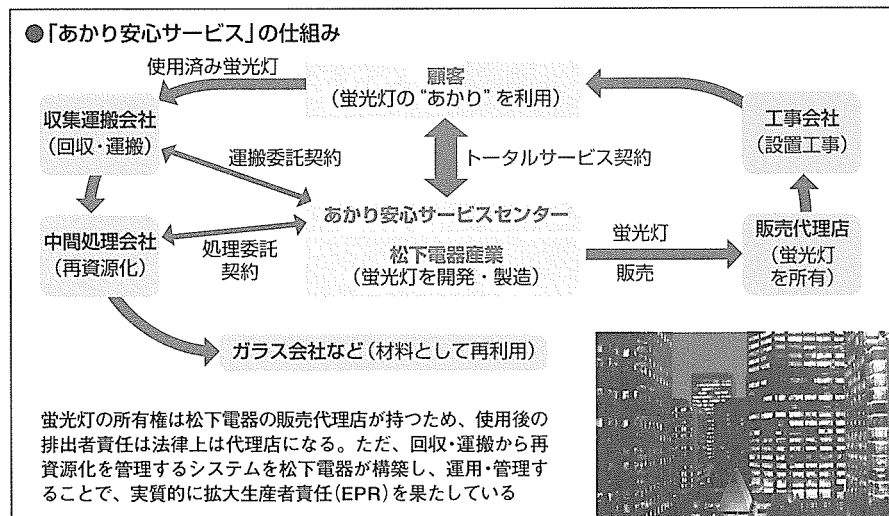


スライディング ボード

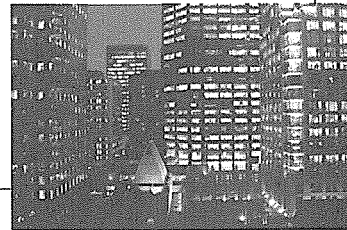


M 電器による蛍光灯レンタル「あかり安心サービス」

所有権は販売代理店が持つが、M 電器が再資源化をサポート



日経エコロジー／2004年1月号



品川区戸越銀座商店街での空き缶・ペットボトル拠点回収（ポイント制度を併用）

空き缶/ペットボトルリサイクル運動	ノーレジ袋運動
<p>資源のリサイクル運動を推進するため、空き缶・ペットボトルを回収機に投入し、ポイントが貯まると、品川区内で使用できる商品券と交換する運動を始めました。</p> <p>①回収機に「エコカード」を挿入します。次に空き缶&ペットボトルを回収機に投入します。</p> <p>②「エコカード」にポイントが加点されます</p> <p>③「エコカード」が満点「500ポイント」になったら各商店街事務所で商品券500円と交換できます。</p> <p>エコカード発行場所/カードを商品券に交換場所 中央会事務所/ふれあい処</p> <p style="text-align: center;">回収機設置場所</p> <p>中央会 スーパー文化堂前 </p> <p>銀六会 お休み処内 </p>	<p>環境保全のため、また子供たちの未来のために、さまざまな環境問題に取り組んでいます。今回はその一つとして「ノーレジ袋運動」を推進します。この「ノーレジ袋運動」とは、参加商店でレジ袋を使わないお客様にコインを渡し、集まったコインを品川区内で使用できる商品券と交換する運動です。</p> <p>①「ノーレジ袋運動推進店」のシールが貼ってあるお店で、お客様がレジ袋を断ると、代わりに「エココイン」をもらえます。</p> <p style="text-align: right;"></p> <p>②「エココイン」は250枚で商品券「500円」と交換できます。</p> <p style="text-align: right;"></p> <p>③「エココイン」は、子供たちのスポーツ団体などに寄付することもできます。</p> <p>コインを商品券に交換場所 中央会事務所/ふれあい処</p>

戸越銀座ネット

戸越銀座商店街連合会

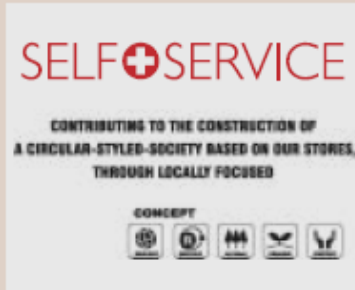
1 グループによる衣料の回収リサイクル

商品を選ぶこと・使うことと社会貢献を、少しずつでも結びつけていきます。



.....
衣料の回収リサイクルを始めました。
.....

●SELF+SERVICE (セルフサービス)



“環境に配慮しながらおしゃれ感覚も楽しめる” イオンのエコロジーショップ、SELF+SERVICE。今年度は10店のジャスコでオープンし、34店舗に広がりました。2003年度は店頭で、新たなリサイクルシステムを始めました。

それはアパレル業界の課題とされてきた、衣料ゴミの削減を目的としたもの。SELF+SERVICEで販売したエコメイトマーク^{※1}商品が不要になったら店頭で回収し、故繊維業者とお客さまも含めた三者によるコラボレーションで年間100万トンにもなる衣料ゴミを少しでも減らし、能動的に資源循環の環をつくっていかようとするシステムです。

故繊維業者については国内最大手であるナカノ(株)と協働し、より多くの衣料に対応できる体制としました。スタートした



2003年10月20日^{※2}以来、年度末までの回収量は約3,000着。これをもっと増やしていくためにSELF+SERVICEでは、回収対象をエコメイト



マーク以外の繊維製品にも広げていこうと考えています。

特に、回収した衣料のうちポリエステル製品は、(株)帝人ファイバーがもつケミカルリサイクル技術^{※3}を活用し、回収品を原料とした新たな商品開発への取り組みを検討中です。加えてこの巻からは、オーガニックコットンや自然染料のフェアトレード商品を販売するフェアトレードカンパニー(株)との新たな連携も始動予定。リサイクル材の商品を扱うだけでなく、商品そのものがリサイクルできるショッ

プへ。そして、お客さま自身がより広く社会貢献に参加できる場へ。それがSELF+SERVICEの目標です。



※1 (社)日本アパレル産業協会が「リサイクル配慮設計商品」と認定した衣料につけられるマーク。衣料の組成別分別回収を容易にします。

※2 数字に「ひと回りふた回り」の意味をかけた「リサイクルの日」です。

※3 回収品から多様な原料が得られるため、新たな石油消費を抑えられるリサイクル技術です。

SELF+SERVICE リサイクルシステム



■ 理念

■ 社会・環境活動
ニュース

■ パートナーから
の
メッセージ

■ 社会・環境活動

■ 瀬戸内オーリー
ブ基金

▶ フリースリサ
イクル

■ スペシャル
オリンピック
ス

■ 緊急災害援助

■ FAQ

■ ご意見・ご要望

フリースリサイクル

フリースリサイクル集計状況

回収されたフリースの点数：**176,944**点

(2004年4月12日現在)

きっかけ

これまで支持してくださっているお客様や社会に対して、恩返しをしたいと常々考えていました。「要らなくなった服を回収して、リサイクルして欲しい」とのお客様のご意見が起因となり、フリースリサイクル活動を自主的に始めました。また、フリースを選んだ理由は、3つあります。

- 単一素材（ポリエステル）から出来ているためリサイクルが比較的容易である事
- ポリエステルは一般的に不燃物として扱われるため、社会への負担となりやすい事
- リサイクルするのに必要な「量」が確保しやすい事

目的

「売りっぱなし」にせず、自分たちがつくったものは自分たちが回収し資源に戻す事で、できるだけ環境への負荷を削減したいと考えております。私たちが目指しているのは、商品の企画・生産・物流・販売を自社で行うことにとどまらず、販売したものを回収し資源へ再生するところまで一貫して行っていくことです。今後は出来る限り対象商品を広げて参りたいと考えております。

活動報告

2001年9月
フリースリサイクル活動開始

▶ [フリースリサイクル店頭ポスター \(282kb\)](#) 

レンタルサービスの動向

1 A社によるレンタル事業

(1) 事業概要

株式会社A社は、フランチャイズ方式により家庭、業務、介護用品等のレンタルを専門とするレントオール事業を展開 年商 105 億円 3,700 万円 (平成 15 年度、レントサービス事業分野)

1977年2月 U社との事業提携により事業をスタート

1978年 兵庫県宝塚市にオープン

その後、市場調査や直営店による検証を重ね、

1979年 市場調査

1980年 名古屋市内に加盟店第1号鳴海ストアをオープン

以来、全国に展開を続け、

1991年 事業コンセプトもレンタルの百貨店から「レンタルのステーション」に転換し、
新たなイメージによるリニューアルと新規出店をスタート

現在、全国約 140 店舗によるレンタルサービスを実施している。世田谷区内には、三軒茶屋に店舗 (三軒茶屋ステーション) がある。

レントオール事業は、「レンタルを通じて、環境にやさしい価値ある豊かな暮らしの提案」をコンセプトに、家庭用品のレンタル、業務用品のレンタル、介護用品のレンタル・販売の3つの事業領域を展開

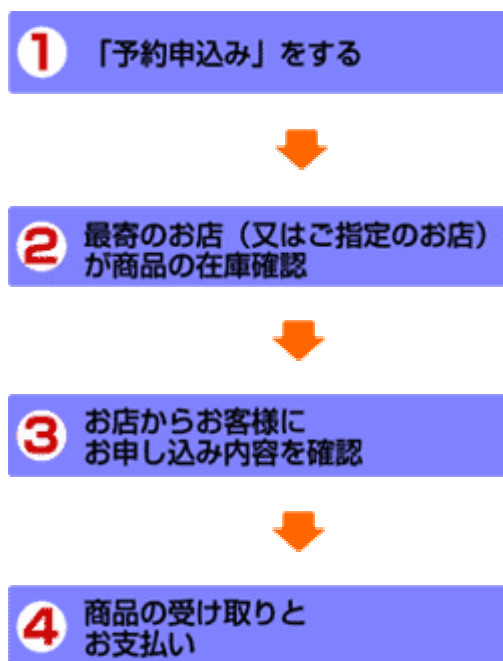
とくにニーズの広がる介護用品分野では、介護ベッドや車椅子などの介護保険適用商品の品揃えを図るとともに、専門相談員による介護・福祉用品選定のアドバイスなどを含む対応もしている。

レンタルのご希望は、全国のレントオールステーションと連動したウェブレンタルサービスを実施

ウェブレンタルサービス (“かしてネット”)

- インターネット上でレンタルの予約サービスを実施
- 24時間受付
- 全国のレントオール店舗で商品の受け渡し及び直接決済
- 商品アイテム数は 1,000 種類以上: ベビー用品、トラベル・レジャー用品、イベント・パーティー用品、ハウスクエア用品、介護用品と5種類のカテゴリーに分類 と が特に人気のカテゴリー
- 配達回収サービスも実施 (料金は別途)
- レンタル商品の関連情報の提供、ビジネス・イベント用品については、イベントの規模や内容、会場によって具体的なアドバイスを実施。介護用品については、介護保険利用などの専門的相談も実施。
- レンタル中古品オークションも実施

レンタルサービスの流れ



（２）レンタル商品例

ベビー用品

ベビーシート、チャイルドシート、ベビーベッド、ベビーカー等 お宮参り用品もあり。

【ベビーレンタルベスト3】

- 一位:ベビーシート
- 二位:乳幼児兼用のチャイルドシート
- 三位:ベビーベッド

トラベル・レジャー用品

デジタルビデオカメラ、スーツケース、ポータブルDVDカーナビ、海外用変圧器等 スポーツ用品もあり。

イベント・パーティー用品

やぐら、和太鼓、PC対応プロジェクター等 オフィス事務機もあり。

ハウスクエア用品

充電式バリカン、枝きり鋏（ガス式）、掃除機等、空気洗浄器等 ガーデニング、日曜大工、家電製品。

介護用品

介護用ベッド、車椅子、入浴・トイレ関連等

e-リユースサービス

『レンタルしたいけど、新品じゃないとイヤ』、『使わなくなったベビー用品の処分が大変』との消費者のニーズに対応し、e-リユースサービスを開始

新品をメーカー小売希望価格の62%～25%OFFで提供

“かしてネット”おススメのベビー用品をメーカー希望小売価格の62%～25%OFFで購入可能。

さらに販売価格の最高30%で買い戻し

“かしてネット”で購入したベビー用品を、使用后 宅配で発送（送料無料）商品の状態に応じて査定し、購入金額の最高30%で買い戻しを行うサービス。 買戻し商品は、手入れし、レンタルまたは中古品販売として利用する。

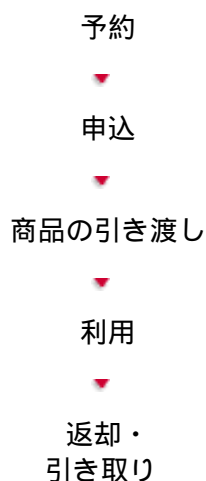
2 B レンタル株式会社

(1) 事業概要

B レンタル社は、総合レンタル業として、全国7店舗により事業を展開、レンタル事業の他、イベント、各種展示会の企画、製作も実施。年商 36 億円 5,460 万円（平成 15 年 3 月期）

1979 年	池袋にレンタルショップを開設して、消費者向けレンタル事業を開始
1980 年	梅田営業所開設
1982 年	新宿営業所開設
1983 年	横浜営業所開設
1987 年	法人向けレンタル事業を目的に新橋営業所、大阪営業所を開設
福岡営業所開設	
1990 年	札幌営業所開設
1996 年	名古屋営業所開設
1999 年	東京商品管理センター、大阪商品管理センター開設
東京都港区新橋 3 丁目 1 1 番地 1 号に B 株式会社の 100% 子会社として「B レンタル株式会社」	
を設立。資本金 3 億円	
2000 年	B 株式会社より、レンタル部門を（8 営業所、2 商品管理センター）
を譲り受け営業を開始。電子投票機器レンタル事業開始（全国初）	
2003 年	梅田営業所、大阪営業所を統合移転

レンタルサービスの流れ



指定の場所への配達・回収

(2) レンタル商品例

- 催事・イベント用品 カメラ, テーブル(丸), 金屏風, 椅子(折りたたみ), 案内板等
- 事務機器・販促用品 黒板, 回転式抽選ボード, 買い物カゴ, メガホン, 空気清浄機等
- 生活用品 除湿機, 折りたたみベッド, 加湿器, ウインドエアコン, 脚立等
- 音響用品 アンプ, カラオケセット, ウォークマン, イコライザー, ラジカセ等
- 祭り・模擬店用品 ちょうちんセット, セイロセット, おでん鍋, かき氷機, 缶ウォーマー等
- パーティー用品 着ぐるみ, コンピューター抽選器, ガストーチ, カラーボール, キャンドルス
タンド等
- 映像用品 デジタルカメラ, ビデオカメラ, 映像分配器, OHP, AV テーブル
- 旅行用品 スーツケース, アイロン(海外用), 双眼鏡, コンタクト煮沸機, コンバーター
等
- スポーツ用品 サッカーゴール(ミニ), ゴルフクラブセット...

【2004年4月の人気レンタルランキング】

- 1位 ビデオカメラ(デジタル)
- 2位 プロジェクター
- 3位 折りたたみイス